



▼子牛価格(三次市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	15	11	73.3%	98,700	1,050	14,000
	雄	257	232	90.3%	68,250	1,050	33,424
計	272	243	89.3%	98,700	1,050	32,353	60
F1	雌	201	189	94.0%	176,400	26,250	118,864
	雄	193	182	94.3%	223,650	5,250	164,867
計	394	371	94.2%	223,650	5,250	141,398	59
ホルス(5才) 雌	69	68	98.6%	312,900	61,950	173,478	684

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	5日	625	356	57.0%	736,050	337,050	504,652
釧路	6日	340	234	68.8%	677,250	294,000	491,539
根室	7日	485	305	62.9%	739,200	337,050	506,871
北海道	8日	119	98	82.4%	712,950	283,500	447,675
豊富	14日	385	310	80.5%	637,350	353,850	514,297
北見	20日	508	373	73.4%	646,800	264,600	485,795
十勝	21日	840	633	75.4%	717,000	318,150	508,845
根室	22日	390	267	68.5%	688,800	333,900	500,229
合計		3,692	2,576	69.8%	739,200	264,600	494,988

業務報告 (11月分)

- 29日 広島県農協農政協議会
- 28日 酪農生産研究会秋期研修会
- 27日 牛乳料理コンクール中国大会
- 26日 東部管内青年部役員会
- 25日 あきたかた酪農振興会視察研修会
- 22日 広酪西部ミルク会親睦交流会
- 21日 TMRセンター定例会議
- 20日 第九回理事会
- 19日 中販連理事会
- 18日 上期監査(四日間)
- 15日 山陽乳業(株)子会社調査
- 14日 鳥獣被害対策アドバイザ講座
- 13日 食品衛生責任者研修会
- 12日 代表監事との定期会合
- 8日 監査講評
- 7日 中販連理事会
- 6日 賀茂地域酪農団体連絡協議会畜産交流会
- 5日 中販連生乳生産基盤維持拡大研修会
- 2日 双楽会グラウンドゴルフ大会
- 1日 山陽乳業(株)経営検討会
- 「たかみや湯の森運営協会新法人設立協議会」
- 「全酪連農七ミナー」
- 「全酪連会員研修会」
- 「広島県農協農政協議会」
- 「ヘルパー調整会議」
- 「全酪連購買・畜産・指導担当者会議」
- 「広島県人権啓発研修」
- 「第十回理事会」
- 「西部酪農会研修会」
- 「庄原市酪農連絡協議会役員会」
- 「三次市酪農振興会TMR研修会」
- 「山陽乳業(株)取締役会」
- 「東部管内青年部忘年会」
- 「地域再生協議会飼料イネ説明会」
- 「三次市への支援要請訪問」
- 「健康保険委員研修会」
- 「酪友フォーラム」
- 「社会保険・労働保険調査」
- 「庄原市への陳情要請」
- 「北広島町長訪問」
- 「東部管内青年部との意見交換会」

編集後記



- ▼ 已年もあと数日となりました。
- ▼ 皆様方にとって、今年一年はどのような年でしたか?
- ▼ 「また年をとるのか いやじゃの〜」、「来年は受験生を抱えて何かと心配じゃ」などの声も聞こえるようです。
- ▼ 広酪は平成六年四月に誕生し、来年には二十歳を迎えます。
- ▼ 今年六月には役員改選も行われ、新たな執行体制のもとで経営理念の達成を意識して取り組んで参りました。
- ▼ とりわけ、庄原、みわに有するTMRセンターをみわに統合し、来春には新たな施設での稼働を目指しております。
- ▼ 建設稼働の目的は、組合員各位に対して「安くても良いエサ」の供給を通じて、可処分所得向上の期待に応えることにあります。
- ▼ この施設では、輸入粗飼料の高騰が続く昨今あって、県内で生産された飼料( WCS ) を利用する方向としており、集落営農法人等の協力を得て、平成二十六年度は八十五ha、平成二十七年年度百二十haの作付け面積の確保にあたり、WCSをTMR飼料の原料として有効利用を進めます。
- ▼ 幸いにも、飼料稲の品種「たちすずか」の搾乳牛への給与実証試験では優れた成果があがっており、改めて、試験研究に取り組まれた広島県畜産センターの各位に敬意を表します。

## 市町別生乳受託量の進捗状況(11月)

(単位：トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	25年度累計	前年比(累計)
庄原市	905.7	21.6%	106.0%	7,585.8	101.9%
三次市	800.4	19.1%	97.3%	6,839.0	99.3%
世羅町	522.4	12.4%	100.6%	4,233.7	103.4%
北広島町	420.8	10.0%	89.0%	3,736.7	91.3%
安芸高田市	372.5	8.9%	103.9%	3,073.0	95.3%
東広島市	363.2	8.6%	96.6%	2,861.2	94.1%
府中市	215.4	5.1%	86.5%	1,950.7	91.6%
広島市	186.4	4.4%	107.2%	1,515.1	97.6%
福山市	122.5	2.9%	97.0%	1,023.7	96.4%
三原市	93.8	2.2%	93.5%	868.9	96.9%
神石高原町	83.5	2.0%	99.0%	767.8	104.1%
廿日市市	62.4	1.5%	98.3%	493.7	90.0%
呉市	52.2	1.2%	94.9%	403.5	95.1%
合計	4,201.3	100.0%	98.7%	35,352.8	97.8%

11月分乳価は？

■ 11月のプール乳価 107,571円  
(前月 108,392円 前月対比 99.24%)

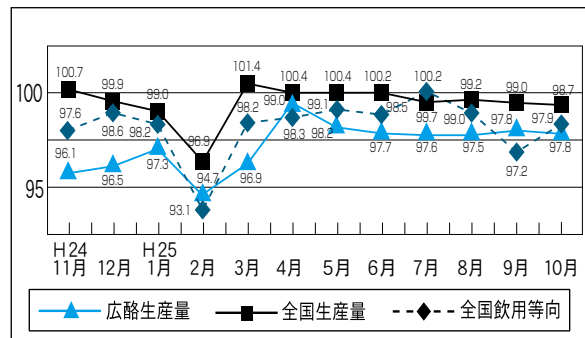
## 生乳受託実績(11月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	44	12	48	47	151
生乳出荷量(トン)	1,499.8	415.4	1,042.2	1,243.9	4,201.3
前年同月対比(%)	100.6%	96.4%	97.5%	98.3%	98.7%
前月対比(%)	97.7%	95.5%	96.3%	97.1%	96.9%
生乳出荷累計(トン)	12,687.7	3,264.7	8,818.5	10,581.9	35,352.8
広酪構成比(%)	35.9%	9.2%	24.9%	29.9%	100.0%

## 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(10月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	44,980	922	27.1%	48.8
2	三次市	36,001	829	21.7%	43.4
3	安芸高田市	18,937	381	11.4%	49.7
4	北広島町	17,614	445	10.6%	39.6
5	府中市	15,085	222	9.1%	68.0
6	世羅町	6,916	532	4.2%	13.0
7	東広島市	6,379	382	3.8%	16.7
8	福山市	5,527	123	3.3%	44.9
9	三原市	5,826	100	3.5%	58.3
10	神石高原町	4,038	86	2.4%	47.0
11	廿日市市	2,908	62	1.8%	46.9
12	広島市	1,591	193	1.0%	8.2
13	呉市	336	52	0.2%	6.5
	合計	166,138	4,334	100.0%	35.1

## 生乳需給の前年比推移(10月) (単位：%)



### お詫びと訂正

「らくのうだより」11月号(No. 236)掲載の「第47回ヨーロッパ酪農視察研修報告」の内容に一部誤りがありました。お詫びし訂正致します。

頁	誤	正
22頁1段目の本文13行目	搾乳ロボット2台を導入(一台当たり84,000クローネ<日本円で約1,274,000円>)	搾乳ロボット2台を導入(一台当たり84,000ユーロ<日本円で約11,000,000円>)
23頁2段目の2行目	2013年では3,086戸	2013年では3,682戸

▼ 広酪が現在建設を進めるTMRセンサーの概要とともに、製造メニュー、製品の取り扱い等に関心の声も寄せて戴いております。

▼ 組合員各位には、今後、説明会などのご案内する予定となっておりますが、その際は最寄りの会場への参加をお願いします。

▼ 皆様、改めまして今年一年お世話になりました。お身体ご自愛のうえ良い年をお迎え下さい。

▼ 来年は午年、「駿馬」の如くスピード感を心にひめ、邁進したいと思っています。

(A・N)